

無農薬農産物の栽培と流通の試み

滑川市 川原 忠良

本来「命の糧」であるはずの農産物が「商品」となり売らんがために外見ばかりをかざり、農薬ばかりでなく最近では着色剤、漂白剤、つや出し剤等の使用がますます増え肝腎な味、栄養、安全性がおろそかになる傾向が続いています。

私は13年前、両親の病死がきっかけで「たべものと健康」について関心を持つようになり、それまで使用してきた農薬、化学肥料をやめ、以来、試行錯誤の中、いろいろな有機農法を試みてきました。その現状と問題点、そして今後の希望等を私なりにまとめてみました。

栽培面

①活性炭の利用

活性炭を土に混入して残留農薬、有害ガス等を中和排出して、有益微生物の繁殖を促し、ガス環境を好む害虫、病原菌の住みにくい土を作ります。また、土の物理的構造を改善し、根張りを良くしたり、土壌水のPHを中性化して作物が育ちやすい状態をつくってくれます。最近日本でも問題になってきた酸性雨対策の1つにもなると思われます。なお農業用活性炭は木質原料（オガクズ、モミガラ等）を特殊な方法で焼いて作ります。

②乳酸菌肥料の利用

作物に肥料をやるのではなく、土中の微生物のえきを与えるという考え方で乳酸菌肥料を利用しています。糞尿や未熟な堆肥はかえって病害虫の発生につながります。乳酸菌肥料は米ヌカにブドウ糖を加えて酸素を抜いて乳酸発酵させて作ります。これは香りもよく家畜も好んで食べ、土に施すと有益微生物が増殖し、その分泌物や死がいも養分として育

った作物は健全であり味もよくなります。

上記の活性炭と乳酸菌肥料を使うようになってから、なんとか無農薬栽培が軌道になるようになりました。

流通面

自然農法、有機農法で栽培された農産物は、量産化、規格化を要求する現在の市場機構には、乗りにくいものです。そのため各地で消費者と直結した流通方法がいろいろ試みられていますが、長続きする例は少ないようです。

私も仲間と共に団地内での直売、消費者団体への一括配達等を試みましたが、お互いに理解し合えるまでに至ることができませんでした。

暗中模索を続けるうちに私は愛情を込めて育てた米や野菜に値段をつけることがなんだかいやになりました。「命の糧」であるほんとうのたべものは「商品」であってはならないと気がついたからです。そこで思いついたのが、会員制です。「商品」を買ってもらうのではなく、生産に必要な経費を会費として会員の方に分担していただく方法です。幸いなことに、この考え方に御理解下さる方ができまして、昨年より宅配便にてお届けしています。

有機農業を志す人の横の連係

富山県内には、有機農法研究会、微生物農法研究会、電子農業研究会等があり、独自の活動を行っていますが、他県に比べ会員数活動共に低調のようです。日本一の兼業化率機械化率が原因と思われます。滑川市には、米作りの5～6人の研究会があり、大阪の米

屋さんと契約して出荷しております。

有機農業を志す数少ない人の中にも技術不足、経済的理由から志半ばにして落伍していく人がめだちます。

しかし、おもしろいことに最近、今まで農業に関係のなかった都会の人が農業の世界に飛び込んでくるのが全国的に増えてきました。そのほとんどの人が30代であり、大学卒のインテリです。おまけに「有機農業をやりたい。」といえます。彼等と交流をもちながら、彼等のフレッシュなセンスと行動力に期待しています。

今後の計画と方向

我が家は現在1町歩の米と2反歩の畑に約50種の野菜を栽培しています。今春、会員さんの希望により、リングの苗木を植えました。また、シイタケ栽培やニワトリを飼って自然卵の生産を計画しています。



なるべく早く技術面、流通面のシステムを完成して、おいしくて栄養があり、安全な農作物供給の1つのモデル農場をつくるよう努力を続けていきたいと思えます。

北川先生への私信

北川様へ（富山市、北川内科クリニック）

冷たい雨が降っています。冬がそこまでやってきました。残り少ない畑の野菜たちもさびしそうです。いよいよ今日が今年最後の配達となりました。5ヶ月間、ほんとうにありがとうございました。私たちににとって初めての試みでありましたので何かとご不便をおかけしたと思えます。こちらの一方的な都合による箱づめの中から献立、調理なさるご苦勞を感謝いたします。また全般的に野菜が小ぶりだったことも申し訳なく思っています。

おかげさまで、会員全員の皆様に最後までご利用いただきまして今後も続けてゆけるめどがたちました。来シーズンもよりいっそう頑張りますので、何とぞよろしくお願ひします。また、よろしかったらお知り合いの方を御紹介いただけたら幸いです。北陸三県は即日配達、その他は翌日配達いたします。にせもの食品がまかりとうる世の中「ほんもの」の土のかおりをお届けするよう努力いたします。

——ほんもの村農場より——

TEL. 77-1046